

DXの取組について

和光建設株式会社

2025年11月13日

目次

1.経営ビジョン／ビジネスモデル

2.DX戦略

- ①体制・組織及び人材の育成・確保
- ②ITシステム環境の整備に向けた方策

3.達成度を測る指標

4.サイバーセキュリティ対策について

1.経営ビジョン／ビジネスモデル

- データ活用とデジタル技術の急速な進化は、建設業界に大きな変革をもたらしています。
- 和光建設株式会社は、「豊かな生活の創造を目指して」という経営理念のもと、お客さまを技術の面から支えることを基本に思いやりの心をもって提案し、創造したいと考えます。
- 私たちは、社是である「先意承問」と「千思万考」の精神を、最新のデジタル技術と融合させ、お客様の潜在的なニーズを先読みし、より安全で高品質な施工を実現することを目指します。
- DXを通じて、私たちは地域社会の発展に貢献し、すべての人々にとって豊かな生活を創造する、次世代の建設企業へと進化してまいります。

代表取締役 峠 隆雄

2.DX戦略

- お客さまの豊かな生活を創造するために、長年培ってきた確かな技術力に蓄積されたデータを融合することでより高品質な施工を社会に提供します
- また、DXの活用により事務負担軽減の取組を進めることで生産性の向上を実現し、全ステークホルダーの豊かな生活の実現も目指します
- 具体的には、建設DXプラットフォームを導入することで、工事写真・施工実績を蓄積し、過去の施工データを分析します。
- それにより、最適な施工計画の立案・リスクの事前把握による安全性の向上を実現します
- その結果、経験や勘に依存した施工から、過去実績に基づく施工・提案が可能な企業へ変革します

2.①体制・組織及び人材の育成・確保

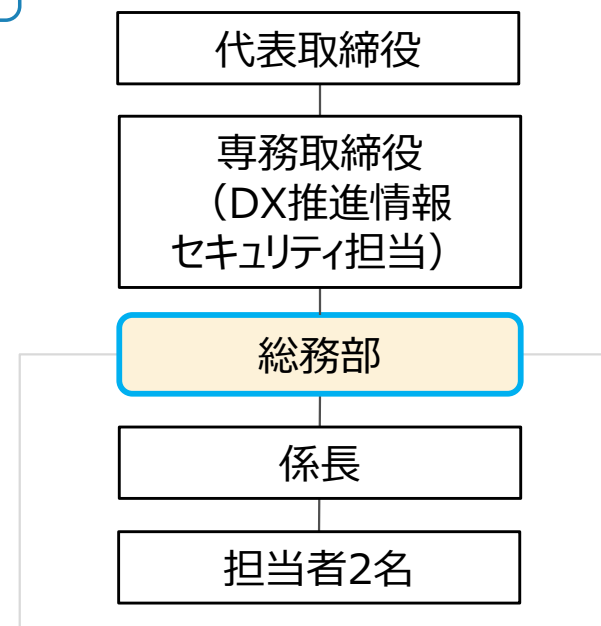
体制・組織及び人材の育成・確保について、以下の体制のもと、次の施策に取り組みます

施策

施策①： DX活用についての勉強会を実施
詳細： 測量機器及び工事台帳クラウドシステム(蔵衛門)の有効活用方法などを社内で共有するための勉強会を実施し、データを業務改善や施工計画に利活用できる人材を育成します

施策②： 働き方改革の推進
詳細： リモートワーク環境の整備などを進めることで多様な働き方を可能にし、ITスキルを持つ人材等、優秀な人材の確保と定着を図ります

体制図



- ✓ DX推進情報セキュリティ担当である専務取締役を筆頭に、総務部が中心としてDX推進を行います
- ✓ なお、必要に応じて他部署とも連携し、全社的に取り組みます

2.②ITシステム環境の整備に向けた方策

ITシステム環境の整備に向けて以下の施策に取り組みます

施策

施策①： 建設DXプラットフォームの活用

目的： 業務のデジタル化を進めるとともに、データを分析・有効活用することで経営戦略に反映し、売上向上を目指すとともに、最適な施工計画の立案・リスクの事前把握による安全性の向上を実現します

施策②： リモートワーク環境の整備

目的： ネット環境の整備や書類確認・承認の時短を行い、リモートワークを促進します

3.達成度を測る指標

DX推進の達成度を測る指標は以下の通りです

指標

➤ 社内決済の短期化

- ✓ 建設DXプラットフォームを用いた計画立案の短縮(平均3時間→平均1時間)
- ✓ 工事写真の台帳成果物の短縮 (平均3時間→平均1時間)
- ✓ 事務作業効率化による入札件数の増加

➤ リモートワーク環境の整備

- ✓ リモートワーク利用可能人数の増加

4.サイバーセキュリティ対策について

当社は独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が推進する情報セキュリティ対策への取り組みを自己宣言する制度「SECURITY ACTION」において、「二つ星」を宣言しています



セキュリティ対策自己宣言